

別府市竹細工伝統産業会館について

現在の別府市竹細工伝統産業会館の前身は、1950年に竹細工の技術発展のために設立された別府市工芸研究所でした。この施設は1994年まで運営を行っていました。

別府の竹細工は1979年に日本の通産省から「伝統的工芸品」に指定され、そして1994年に別府市工芸研究所の機能を引き継ぎ、別府市竹細工伝統産業会館が設立されました。加えて竹細工伝統産業会館の目的には、竹資源の有効活用、伝統的な竹細工技術の保護、そして竹細工製品の生産に関する教育と訓練があります。

別府市竹細工伝統産業会館には、竹の素材、竹細工に使う道具や技術、実用的かつ芸術的に作られた竹細工製品、そして別府の有名な竹細工職人を詳しく紹介する2つの展示室があります。また映像や書籍の情報を提供し、イベントや特別展を行うスペースも備えられています。

別府市竹細工伝統産業会館には、将来の竹職人の教育と工芸技術の保存という理念に沿って、将来有望な若い職人が技術を磨くことができる研究棟と、研修室も備わっています。訪問者は、教室のスペースで簡単なかごまたは竹の鈴を作ったり、竹の教室に申し込んだりすることができます。

また、施設の改修に伴い2017年にオープンしたミュージアムショップとカフェでは、展示を見た後にくつろいで過ごしたり、竹細工の製品を購入しておみやげとして持ち帰ることもできます。